



マンションアドバイザーオンラインセミナー・相談会

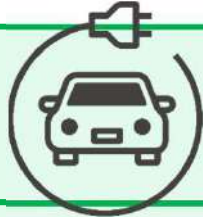
東京都環境局気候変動対策部家庭エネルギー対策課

令和5年12月15日

マンションEV充電設備に係る最近の動き

東京都の環境施策

□2050年「ゼロエミッション東京」の実現
□2030年「カーボンハーフ」



2030年 都内乗用車新車販売

- 100%非ガソリン化
- ZEV割合50%

環境確保条例改正（2022年12月）

- 都内新築建物へのZEV充電設備の整備義務（2025年4月～）

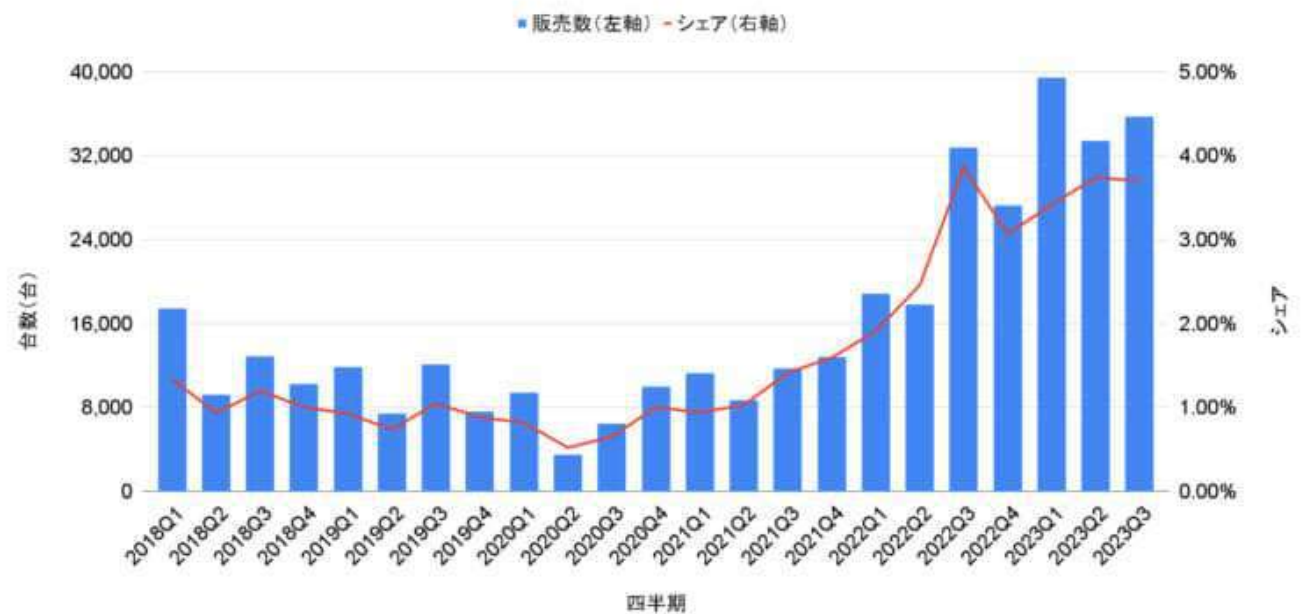
2030年目標「都内集合住宅にZEV充電設備を6万基設置」

⇒今後EV充電設備が「当たり前」の設備になります。

国内のEV販売の状況

- 新たに軽EVの販売が開始
- 国内メーカーのEVラインナップが豊富に
- 国や東京都でEV購入への補助を実施
- 2023年1月から9月の国内EV・PHEV新車販売台数は累計108,271台
(昨年比約**1.6倍**)

日本国内のEV(BEV+PHEV)販売数とシェア(四半期推移)



出典：<https://blog.evsmart.net/ev-news/electric-vehicle-sales-in-japan/>

⇒一過性の動きではなく、今後、EVの普及が加速度的に進んでいく可能性がある。

マンションへのEV充電器設備の設置実績

目標：2030年までに6万基

令和4年度末実績：899基

充電設備普及促進事業の申請状況

		H30	R1	R2	R3	R4
申請基数実績 (累計)		59	100 (159)	127 (286)	185 (471)	564 (1,035)
内訳	普通充電器	59	97	127	181	564
	急速充電器	0	3	0	4	0

R4年度申請基数は前年比約3倍と急増している。

(参考) 戸建住宅の補助事業申請基数実績 (令和4年度) : 1,062基

集合住宅の充電設備設置の関心の高まり

マンション管理組合へのアンケート調査

【調査対象】 都内マンション10,000棟の管理組合

(築年数が浅く戸数が多いマンションを分布状況を考慮して無作為に抽出)

【調査期間】 第1回目：2023年1月～2023年2月、 第2回目：2023年7月～2023年9月

第1回調査結果

- 回答数：453棟
- EV充電設備を設置済み：36棟（約8%）
- 未設置のうち、EV充電器を設置予定・設置したい・興味あり：**248棟（約67%）**

第2回調査結果

- 回答数：313棟
- EV充電設備を設置済み：10棟（約3%）
- 未設置のうち、EV充電器を設置予定・設置したい・興味あり：**131棟（約46%）**

第1回・第2回調査結果のまとめ

- EV充電設備を設置済みのマンションは**46件（約6%）**
- 未設置のうち、EV充電設備を設置予定・設置したい・興味ありと回答したマンションは**379件（約58%）**

集合住宅の充電設備設置の関心の高まり

個別相談会（マッチング会）

- 開催日時：令和5年10月9日（月・祝）13:00～16:00
- 申込：31団体（マンション管理組合）
- 参加：29団体（来場：19名、オンライン10名）
- 参加者の**約83%が満足・やや満足と回答、約73%が次回も参加と回答**
- 次回は2024年2月開催予定です。
詳細は決まり次第ポータルサイトにてお知らせいたします。

マンション管理アドバイザー事業

- 令和4年度の派遣は20回/年
- 令和5年度派遣実績：申込50件
- うち派遣済み 46件
- ※令和5年度は派遣数を年90回に大幅増加
- ※令和5年10月末時点

自宅設置のメリット

①寝ている間に充電可能

⇒「ながら充電」できる環境を作ることによって、実質待ち時間「0」

②急速充電器と比較して充電費用が安く済む

⇒時間帯別料金を利用することで、更にお得に

③給油のためだけにガソリンスタンドに行く必要が無い

⇒自宅で充電できれば、給油のためだけに出かける必要がない

マンションへの設置

【EVの充電器は？】

マンションへEV充電設備を導入する場合、長時間充電可能であり、設置コストも安価な**普通充電器が適しています**

⇒**夜間の駐車している間に充電が可能**

※例えば日産「サクラ」ではフル充電で180km程度走行可能。
充電時間は普通充電器で約8時間程度。

【普通充電器の設置・運用方法】

- パターン1 シェア型：共有部への少数設置
- パターン2 個別設置型：契約駐車場への各区画に設置

マンションへの設置

パターン1 シェア型

数台の充電器を共用部に設置し、ユーザー間でシェア

- ・事業者によっては、アプリ上での予約や利用時間に応じた利用料金徴収が可能
- ・少数設置のため、導入費用を比較的安価に抑えられる
- ・EVユーザーが少数の場合でも合意形成を得やすい



スタンド型

図 : https://ev-stand.jp/ev_chargers_list/Panasonic/より引用

パターン2 個別設置型

すべての駐車場区画に充電器を設置

- ・一台ごとの設置コストが安価
- ・将来的にEVユーザーが増えた際にも対応が可能
- ・設置後の維持管理が容易
- ・電源容量が不足した場合電力を別に引き込むことも可能



コンセント型

図 : https://ev-stand.jp/ev_chargers_list/Panasonic/より引用

機械式駐車場について

【駐車可能なEV車両について】

下表は、令和5年10月に環境局が実施したメーカーヒアリングの結果を一般論としてまとめたものです。
個別の対応状況については、お使いの機械式駐車場メーカーにお問い合わせください。

駐車可能なEV車両		タワー式 ※1	2 多段式
既設	主な仕様（幅/重量）	1,850mm/1,900kg～2,000kg	1,850mm/2,000kg
	主な対応車両	全EV車両ラインナップの35%程度（日産リーフ・サクラ等）※2	
新設	主な仕様（幅/重量）	2,050mm/2,300kg～2,500kg	1,950mm/2,300kg
	主な対応車両	全EV車両ラインナップの80%～90%程度（大型輸入車以外） メーカーによっては、ほぼ全てのEV車両に対応したタワー式パレットもあり	

※1 全てのパレットに最大荷重がかかる設計はしておらず、車重が重いEVが駐車できるのは全体の2割程度になる可能性がある。

※2 設置年が古い2多段式（昭和40年～50年に設置されたもの等）は、軽自動車EVしか駐車できない場合もあり。

※3 車両総重量や車幅の観点からEV車両が駐車可能か否かであり、充電器が設置可能や給電口と筐体の干渉は考慮していない。

➡ 新設や入替であれば大型輸入車を除く8割から9割程度のEV車両が駐車可能

機械式駐車場について

【既存の機械式駐車場の大型化・高耐荷重化について】

種別	タワー式		2 多段式	
	メリーゴーランド式	エレベーター式	横行パレット	昇降パレット
改修（パレット交換等）	△※1	△※1、※2	△	×
施設の入替・更新	×	×	○※3	

※1 既存筐体の構造物としての耐荷重とサイズの成約を受けるため、パレット交換等、大幅な改修は難しい可能性がある

※2 一部メーカーでは、パレット数を減らした上で高耐荷重の大型パレットへの交換が可能

※3 パレット数を減らした上で、耐荷重増とパレット大型化が可能

※4 給電口の干渉は考慮していない

- ・改修や更新時にパレットの大型化と高耐荷重化をすることで駐車可能なEV車両の選択肢が増える。
➡全EV車両ラインナップの80%~90%程度（大型輸入車以外）に対応することも可能

【EV充電器の設置について】

メリーゴーランド式以外であれば、機器の設置は技術的には可能なケースが多い。

パレット大型化・高耐荷重化の更新にあわせて、**将来的なEV需要の増加を考慮して**充電器の設置や先行配管を行うことが望ましい。

充電設備の設置の流れと東京都の支援策

令和5年6月
東京都 環境局

充電設備の
設置の流れ

都の支援



1. 検討段階

①ポータルサイト【東京都マンション充電器情報ポータル】
マンションへの充電設備の設置に関する総合情報提供サイトです。セミナーや相談会等、タイムリーな情報を提供します。

①オンラインセミナー&相談会
充電設備の選定から意思決定、設置までを分かり易く解説するセミナーと専門家に直接質問できる相談会を行います。
(参加費無料/2023年7月、9月、12月・2024年2月開催予定)

②マンション管理アドバイザー派遣
マンション管理に精通する専門家が現地を訪問し、充電設備の設置に係るアドバイスを行います。
(参加費無料/随時受付中/年間90件まで受付)

③現地調査経費補助
管理組合内で議論するための提案書作成に係る現地調査費用を補助します。(補助額最大18万円/件)

④充電事業者との個別相談会
充電事業者から提供するサービスのプレゼンと充電事業者との個別相談会を行います。
(参加費無料/2023年10月、2024年2月開催予定)

⑤充電事業者への相談
東京都では、マンション向けの充電サービスの普及を後押ししています。ポータルサイトで充電事業者を紹介しています。

2. 導入段階

⑥充電設備普及促進事業
充電設備購入費用と設置工事費用を補助します。
国と都の補助金を併用することで、ほとんど費用負担なく設置できる場合もあります。

3. 運用段階

⑦ランニング経費補助
新規引込の充電設備設置後の電気料金（基本料金）を補助します。
(最大18万円/年、3年間)

※③⑥⑦の補助事業の対象・要件等の詳細については、各補助事業の実施要綱、交付要綱、申請の手引きをご確認ください。

東京都の支援策

STEP1 検討段階

充電設備を設置するには、充電設備の種類や設置場所、台数等事前の検討が必要です。

東京都では、「東京都マンションEV充電器情報ポータルサイト」での情報発信や、マンション管理アドバイザー制度やセミナー&相談会、現地調査経費補助を通じて、皆様のご検討を支援しています。

東京都の支援策①

東京都マンションEV充電器情報ポータルサイトの運営



集合住宅の管理組合や居住者等向けに、EV充電設備の導入の進め方を解説した動画や導入事例、相談会開催のお知らせなど、様々な情報を発信するポータルサイトを運営しています。

EV充電設備の導入に際して、集合住宅における合意形成に役立つ内容を掲載していますので、ぜひご覧ください。

詳細はこちら（東京都マンションポータルサイト）→



東京都の支援策①

年4回開催

オンラインセミナー&相談会

本日開催しているセミナー&相談会は、今年度4回（残り1回・2024年2月）実施いたします。

何度でも参加可能ですので、次回もご希望がありましたらご参加ください。

詳細はこちら（申込先：株式会社レクシード）→



東京都の支援策②

マンション管理アドバイザー派遣

現地にマンション管理の専門家を派遣し、一対一で現場を見ながら充電設備の設置に係る相談を無料でお受けいただけます。

【ご相談内容】

- 充電設備の種類・スペック・機能
- 充電設備の設置工事の注意点
- 充電設備の設置に向けた合意形成の仕方
- 利用料金の徴収方法等

【受付先】

株式会社レクシード

Mail: adviser@rexceed-kt.co.jp

TEL : 042-505-9522 (平日9~17時)

詳細はこちら (株式会社レクシードHP) →



東京都の支援策③

新規

現地調査経費補助

充電事業者に充電設備の設置に向けた、現地調査の費用を補助します。提案書と費用の見積が無料で受けられます。

【助成要件】

- 集合住宅の住居者の用に供する駐車場への充電設備設置に係る導入調査等を行うこと
- 都の登録を受けた充電サービス事業者が調査を行うこと
- 理事会等で充電設備設置に係る検討・議論がなされていること

【助成経費】

- 現地調査費及び提案書作成に係る経費（上限18万円/件）

東京都の支援策④・⑤

充電事業者との無料個別相談会

充電設備の設置に関心のある都内のマンション管理組合・住民等を対象に、都の施策及び充電事業者のサービス内容のプレゼンと個別の無料相談会を2024年3月20日（水・祝）に開催いたします。
→詳細はEV充電器ポータル（<https://www.tokyo-evcharge.metro.tokyo.lg.jp/post-2021/>）よりご確認ください。

【前回（2023年10月）参加事業者】（五十音順）

- 株式会社エクシオテック
- ENECHANGE株式会社
- Terra Motors株式会社
- パナソニック株式会社エレクトリックワークス社
- pmi テック株式会社
- 株式会社ファム
- ユアスタンド株式会社
- ユビ電株式会社
- ラコーソリューションズ株式会社
- Ring-ndx株式会社
- レジル株式会社（旧社名：中央電力株式会社）

本年度10月に開催した第2回目の開催では、29の管理組合・住民等の方にご来場いただきました。
なお、来場者アンケートでは、約83%の方からご好評をいただき結果となりました。
充電器の設置を強制することはありませんので事業者の選定に迷われている方はぜひご参加ください。

東京都の支援策

STEP2 導入段階

検討段階を終え、実際に充電設備の設置を行う導入段階では、設備購入費用と設置工事費用等を補助することで、設置の支援をしております。

国と都の補助金を併用することで、ほとんど費用負担なく設置できる場合もあります。

ここからは、東京都の助成事業についてのご案内です。

東京都の助成支援策⑥

導入費の支援（充電設備普及促進事業（集合住宅向け））

【助成対象者】

- 東京都内の集合住宅に住民用として設置する充電設備の所有者
（法人、個人、法人格のないマンション管理組合及びリース事業者）

【助成対象設備】

- 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車に充電するための設備であること
- 経済産業省の「クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金」で補助金交付対象として承認された設備であること（国補助の対象機器であること）
- 新品であること

詳細はこちら（クールネット東京HP） →



東京都の助成支援策⑥

一部拡大

導入費の支援（充電設備普及促進事業（集合住宅向け））

【助成内容】

助成対象設備	設備購入費	設置工事費	受変電設備改修費
超急速充電設備 （出力90kW以上）	全額 （機種ごとに上限あり）	上限1,600万円	上限435万円
急速充電設備 （出力10kW以上）		上限6万円/kW or 上限309万円/基 （いずれか低い方）	
普通充電設備 V2H充放電設備 充電用コンセント*	半額 （機種ごとの上限あり）	上限81万円（1基目） 上限40万円（2基目以降）	機械式駐車場の場合、 上限を拡充 上限171万円（1基目） 上限86万円（2基目以降）
充電用コンセント		上限60万円（1基目） 上限30万円（2基目以降）	

※事業者代理で申請していただくことも可能です。

東京都の支援策

STEP 3 運用段階

充電設備を設置した後の運用段階においても東京都の支援があります。
本年度より開始したランニング経費補助についてのご案内です。

東京都の助成支援策⑦

新規

集合住宅への充電設備設置後のランニング経費

充電設備を多数設置した場合、電気基本料金を3年間補助いたします。

【主な助成要件】

- 集合住宅に充電設備を設備するために、特別措置等の電力契約を新たに行うこと
- 充電設備を10基以上設置すること（当該集合住宅の駐車場区画が10区画未満の場合は全駐車区画に設置すること）
- 導入調査等に係る経費補助を利用していること

【助成対象経費】

- 特別措置等を利用して新たに契約した電気料金の基本料金
（上限額18万円/年 最大3年間）

クールネット東京HPのご案内

- 東京都の補助事業・支援事業に関する申込のお手続きについて、申請書類や申請時のチェックリスト等はクールネット東京のホームページに掲載しております。なお、ケースによって提出書類も変わってくる場合がありますので、詳細はクールネット東京にお問い合わせください。

- 充電設備普及促進事業（充電設備購入費用と設置工事費用の補助）につきましては下記からご確認ください。

クールネット東京「充電設備普及促進事業」

URL : <https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/res-evcharge>



- マンション充電設備普及促進事業（導入調査等の経費の助成・電気料金の助成）につきましては下記からご確認ください。

クールネット東京「マンション充電設備普及促進事業」

URL : <https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/survey-evcharge>



都の補助金を活用したEV充電器設置の導入事例

ここからは、実際に都の助成制度をご活用いただきEV充電器を設置していただいた集合住宅をご紹介します。

導入にあたっての費用感等ご参考になれば幸いです。

都の補助金を活用したEV充電器設置の導入事例

○パークホームズ武蔵小山

※設置時期:2021年10月【設置事業者 中央電力株式会社】

概要

総戸数 287戸(分譲マンション)

駐車場区画数 平置6区画、機械式64区画

設置状況

充電器の種類 普通充電器 6kW 壁面取付タイプ

配管 建物内は隠ぺい配管、建物外は露出配管(約68m)

設置数 平置駐車場2区画に1基ずつ設置
(計2基)※契約者専用

費用及び補助金の活用

設置費用 約320万円

補助金額 約196万円
(国/約153万円、都/約43万円)



導入の経緯

- 充電サービス事業者の丁寧な説明がきっかけ。
- EV車の時代になるという予測と補助金の活用で費用負担が少ないことなどから、2021年10月に設置。
- 隠ぺい配管のため点検口の新設や配管ルートへの検討が費用増につながった。

都の補助金を活用したEV充電器設置の導入事例

○イニシア千住曙町

※設置時期：2021年12月【事業者 ユアスタンド株式会社】

概要

総戸数 515戸（分譲マンション）

駐車場区画数 自走式 約490区画

設置状況

充電器の種類 普通充電器 6kW スタンド取付

配管 架空配管（約100m）

設置数 駐車場2区画に1基ずつ設置
（計2基）※複数台で共用

費用及び補助金の活用

設置費用 約224万円

補助金額 約193万円
（国/約150万円、都/約43万円）



導入の経緯

- 今後の利用普及増を踏まえて数年前から設置を検討。
- 補助金の活用で費用負担が少ないこと、住民アンケートの約9割が設置に賛成だったことなどから、2021年12月に設置。

都の補助金を活用したEV充電器設置の導入事例

○プレステージ杉並

設置時期2022年12月【設置事業者 ユビ電株式会社】

概要

総戸数	39戸(分譲マンション)
駐車場区画数	41区画(地下38区画、地上3区画 (内、ゲスト用2区画))

設置状況

充電器の種類	充電用コンセント 出力3.2kW
配管	・特別措置による新規引込(敷地内に支柱を設置) ・地下駐車場手前(消化ポンプ室)に引込。 地下駐車場内は天井裏を配線。 ・地上は引込支柱から植栽内を配線。
設置数	41基(全駐車区画に設置)※全駐車区画で専用利用

費用及び補助金の活用

設置費用	約989万円
補助金額	約752万円 (国/約748万円、都/約4万円)



導入の経緯

- ・居住者からの声がかきかけで導入を検討。
- ・充電事業者が契約者となって電気を別引込することで管理組合の電力契約との切り分けが可能になること、充電器を利用した人が料金を負担する仕組みが導入できることなどから、2022年12月に設置。

当物件につきまして、実際の管理組合理事長による事例紹介の動画がございます。詳細 ⇒



今後の流れ

- 東京都の補助事業・支援事業の発表は以上になります。
ご清聴いただきありがとうございました。
- この後は、第二部相談会に移らさせていただきます。発言者が切り替わりますがこのままお待ちください。